

平成23年度

第3回岡山市保健福祉政策審議会における主要な意見

- 1 日 時 平成23年11月22日(火)14:00~15:57
- 2 場 所 岡山市保健福祉会館9階 機能回復訓練室
- 3 出席者 委員7名
- 4 傍聴者 報道2社、傍聴者1名
- 5 議 題 ・高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の見直しについて  
高年齢者数、認定者数の将来推計について  
サービス量の推計(第5期計画期間)について

6 主要な意見

<サービス量の推計について>

- ・ サービス量の推計値について、国が示す方式に基づいて算出するものであり市町村で独自に算出できるものではないと思う。
- ・ 特別養護老人ホームの整備自体は、岡山県の整備方針を踏まえて、岡山市の整備ということになる。その為、岡山市として独自に多床室を進めることはできないと思う。
- ・ 地域によっては、サービスの提供が難しいなど個々のサービスの提供について、地域格差が生じているのではないかと思う。
- ・ 必要なサービスが岡山市内のどこでも受けられるように体制を整備し、サービスの少ない地域には、市の施策を実行することにより誘導していく必要があると思う。
- ・ 24時間対応の定期巡回について、医療依存度の高く、介護度の高い人に対して適切なサービスが提供できる人材が確保できるかが心配である。また、実施するエリアは、小学校区だけでは到底できないために地域格差が生じないように運用面で議論が必要だと思う。

<その他>

- ・ 認知症の人達への対応が大問題となっており、その受け皿として精神病院が受け入れている問題がある。
- ・ 医療依存度の高い人に対しては、ナースとヘルパーがお互いに協力する新たな体制の構築が必要ではないかと思う。
- ・ 高齢者に対して、健康管理などの生活指導をしていくことが必要だと思う。
- ・ サービスの必要な人に必要なサービスが受けられるような制度としていく必要がある。